

1 基本理念

東里地区住民ならびに東里地区出身で今は外に在住の元住民（以下、東里出身シンパと称する）が、現状より”安心で安全、楽しく住みやすい地域“にするため、地区内の構成団体、特に東里地区自治連合会（自治会長会含む）、並びに社会福祉協議会、自主防災防犯会を始めとする地区構成団体の意見や提言を踏まえ、課題化し、適切な施策提言を行い、また必要に応じて事業化させる基盤（プラットフォーム）となることを理念とする。

なお、東里地区自治協議会は、東里地区が他地区に比べ小規模であることのメリットを生かし、壮大だが効果が分かりにくいプランより、身近にメリットが感じられる事業や企画を順次投入し、住民が確かな効果を感じられる有益団体をめざしたい。

2 計画概要

東里地区自治協議会を構成する団体が、まちづくりについて協議する場づくり。

- ① 東里地区自治協議会の定期会合の場を毎月設け協議し、その結果を継続協議内容も含め、自治連合会（自治会長会を含む）、社会福祉協議会、自主防災防犯会、民生児童委員会（毎回報告・協議）に報告するとともに、必要に応じて関連する諸団体にも報告・協議する（必要に応じて報告・協議）し、意思疎通を密にし、協議内容実現を図る。
- ② 地区住民、東里出身シンパが集う出会いの場づくり、および情報交流のため、当面は年に一回ペースで“東里ふれあい祭”を行う。
報告会や情報誌による情報提供ではなく、交流の場を設けるのは、参加者の親睦とコミュニケーションを図ること、楽しい思い出の記憶を作ること、東里地区への好感度を高めるためである。
- ③ 地区住民を主対象に、健康講座を定期開催し、健康維持と交流の場とする。
講師は、東里ふれあい会館利用の健康増進各クラブ、および地域起こし協力隊（理学療法士）等に委ね、また必要に応じて外部講師を招聘する。
- ④ 有償ボランティア制度（利便供与者／提供者間で対価を授受する制度）を早期に立ち上げ、地区住民の要望に応える。
- ⑤ 令和7年度自分ごと化会議（奈良市東部出張所・東里自治連合会主催）で得られた提言の実現を長期スパンで行う。

（提言案）・須川ダム湖周辺の老朽化した桜を更新し、花見ができるようにすること

・草刈りイベントやコンテスト

・その他、東里地区自治協議会理念に沿う提言計6プラン。

（長期スパンで実行部隊創設、運営）

・自分ごと化会議の提言は2050年の東里がどうあってほしいか、具体プランを描くことである、したがって提言されたプランを自治協議会で採択し、順次、具体化していく。

・どんな事業を／・どのような人や団体が／・いつから／・どのような形態で
／どのような規模で／収入・支出をどのようにして賄うか、等々を個々のプラ

ンごとに詰め、そのプロデューサーとして自治協議会を機能させ、毎年進捗管理していく。

3 計画実現のインフラ作り

① 広報：東里ふれあい祭など機会を捉えて、情報提供する（紙媒体、東里インフォメールなど）

運営：理念に沿って活動する中で、不具合や改善点などが判明した場合、速やかに原因を究明し、組織体制、運営方法などに反映させる。

運営：東里地区自治協議会で判明した事案のうち、既存団体の通常活動に落とし込めることは課題提起とアドバイスに留め、団体間ストレスが発生しないよう留意する。

以上